

長崎市提案型協働事業提案企画書

団 体 名	トムテのおもちゃ箱
提案事業の名称	地域のおもちゃ箱発掘事業
提案事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今現在「支援をされる側」にある育児中の保護者を、「支援する側」、地域コミュニティで積極的・主体的に活動できる人材へと育成する。 ・ 子育てサークルを増やすことにより、選択肢の多様化を作り出し、母親支援を強化すると同時にひきこもり育児解消のファーストステップとする。 ・ サークル運営のノウハウを伝えることにより、子育て支援センターを利用している保護者に、それ以外の主体的な子育てを提案する。
課 題 の 緊急性・重要性	<p>長崎は他の地域に比べ、子育てサークルなど自主的な活動団体が少なく、子育て支援センター等行政の用意した場所へ「支援される」者として参加する 경우가ほとんどである。</p> <p>しかし、本来住みよい地域づくりあるいは子育てしやすい町作りには、個人の主体的な活動が欠かせない。子育てサークルの運営といった自主的な活動の経験が、将来的に地域へ貢献できる人材を生み出し、地域コミュニティの活性化にもつながる重要なことと思われる。</p>
協働の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ サークル運営へとつながる可能性のある人材を確保するため、子育て支援課が運営しているお遊び会や子育て支援センターの利用者など、人的なつながり、あるいはノーバディーズパーフェクト講座の終了生などヒューマンリソースを最大限活用する。 ・ 子育てサークル開催の最大の課題である会場の確保が、行政との協働により容易となれば、サークル活動の活性化につながりやすい。
協働による 相乗効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動場所の確保が容易となり、サークルの定期的安定的な開催が可能となる ・ 子育て支援センターを卒業した保護者の受け皿となりえる ・ 登録団体が増えることによりトムテのおもちゃ箱の活動が活性化する
協働の役割分担	<ol style="list-style-type: none"> 1. 提案団体が果たそうとする役割 サークル運営に必要な具体的なアドバイスを中心とした連続講座の開催、サークル作り及び維持運営のサポート 2. 本市に期待する役割 サークル活動場所の提供・調整、広報・PR
提案事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て中の保護者20名を対象に、6回の連続講座の中でおもちゃやあそびを中心にサークル運営の具体的な方法を提示。最終回には、サークル開催場所の確保、仲間集めのための広報などサークルの立ち上げ、運営の実習を行う。 ・ 講座終了後は、継続的に毎月スキルアップ講座を兼ねた報告会などを行い、活動をサポートする。

<p>提案事業の実施体制</p>	<p>1. 総括責任者 高野幸恵 2. 連続講座担当責任者 原口光美他 専従スタッフ3名 3. サークル維持運営責任者 高野幸恵他 専従スタッフ2名 トムテのおもちゃ箱では2005年に発足以来（2008年に長崎グッド・トイ委員会より名称変更）おもちゃキットの貸出を中心におもちゃひろばやボードゲーム大会の開催、カブラのワークショップなどおもちゃ遊びを中心とした子育て支援活動を行っている（昨年度の活動実績については別紙参照）。</p> <p>現在の登録団体は16団体 会員 19名</p> <p>有資格者 高野幸恵 NPO 法人日本グッド・トイ委員会認定おもちゃコンサルタントマスター 日本プレイセンター協会 スーパーバイザー 教育学修士 原口光美・堀江香子 NPO 法人日本グッド・トイ委員会認定おもちゃコンサルタント 石瀬尚美 長崎県メディア安全指導員</p>
<p>事業スケジュール</p>	<p>平成24年</p> <p>4月上旬 おもちゃひろば告知・参加者予約受付・講座準備 5月第3週目 おもちゃひろば開催・講座受講生公募・受付・講座準備 第5週目 第一回目講座 「仲間をつくろう」（仮）おもちゃを通じての仲間づくり 6月第1週目 第二回目講座 「遊びについて考えてみよう」（仮）（託児有） 第2週目 第三回目講座 「メディアとこども」（仮）（託児有） 第3週目 第四回目講座 「サークルを作ってみよう」（仮）（託児有） 第4～7月第2週目 第五回目講座 「実際にサークルを運営してみよう」 *各グループ各々の日程・会場でサークルを主催 7月第2週目 第六回目講座 「報告会」 9月以降 サークル活動継続のためのサポート ・毎月スキルアップ講座と報告交流会を開催 ・各サークルへ1回ずつ視察</p>
<p>事業の展望及び今後の活動展開</p>	<p>・本事業終了後は、当団体から、おもちゃキットの貸出あるいはゲーム大会やカブラのワークショップの開催等、年齢に応じた遊びの提案を行い、長期間にわたる継続的なサポートを行う。</p>